

令和6年度

社会福祉法人 景福会

事業計画書

令和6年3月23日

基本理念

「和顔愛語」

おだやかな笑顔(和顔)と、思いやりのある話し方(愛語)で人に接します。

基本方針

「社会、地域における福祉の充実・発展」に寄与することを使命とし、以下を実践していきます。

1. 利用者様の人権を尊重し、個人の尊厳が守られる福祉サービスを提供します。
2. 利用者様のプライバシー・個人情報を保護し、信頼性の高いサービスを提供します。
3. 社会福祉法人として良質かつ安全安心な福祉サービスを継続的に実施できるようにサービス品質の向上に向けた取り組みを行います。
4. 地域の様々な福祉課題、生活課題に主体的にかかわり、多様な関係機関や個人との連携・協働を図り公益的取組みを進めていきます。
5. 良質な福祉人材の確保、福祉の仕事の啓発のための情報発信、福祉教育に取り組まします。

認知症介護理念

苛立ちや不安、不穏感が高まらないよう配慮します。

目線を合わせ、笑顔で会話をし、なじみの関係を作る努力をします。

束縛や禁止のない日常生活を過ごしていただき、そして自由を大切にするための努力をします。

令和6年度事業方針

今年度は3年に一度の介護報酬改定年度になっています。

弊法人の事業に係る部分で言えば、①「医療機関との連携強化(緊急時・感染症発生時)」、②「機能訓練・口腔・栄養の一体的取り組み」、③「良質なサービスを効率的に提供と働きやすい職場づくり」への取り組みが大きな課題になっています。

こうした中、昨年度の目標としていた桜花台園収支改善は小規模多機能事業の稼働アップで大きく改善し黒字(助成金除く)転換見込です。しかし、唐孔雀園は特養の稼働アップで増収を見込んでいますが、他事業の赤字を補えず引き続き赤字見込です。

令和6年度は桜花台園3事業の稼働維持と唐孔雀園特養・ショート稼働を微増させ収支の安定を図ります。さらに従前からの大きな課題として挙げられている唐孔雀園デイの抜本的改善と収支改善困難な給食事業の二事業の存続も検討すべき時期に来ています。

利用者増加

両施設とも事業ごとの計画どおり対応をとるとともに、さらに進捗等のチェックを徹底していきます。特に唐孔雀園デイについては、生活相談員による居宅事業所・地域包括、医療機関等の営業を強化して進捗状況チェックするとともに、他事業所にはない特色のあるサービスを構築し、利用者の定着および利用回数の増加を図る。

また、令和5年12月から定期的に南溟会と合同で入所調整者担当会議を開催し、各事業の特性を活かしながら入所情報や医療機関や居宅事業所等への営業方法について協議しています。

人事

(1) 人員および教育体制

法人全体で派遣職員は、現在6名(常勤換算)と前年同期プラス1名で推移しています。

現在の求人動向は、昨年より厳しい状況でハローワークの応募・紹介会社経由の経験者応募も少なくなり、派遣会社に登録している職員を減少しています。

外国人介護人材の受入れは現在留学生を2名在籍していますが、技能実習生の受入れは行っていません。今後具体的に検討すべき時期に来ています。

入職者に対しては新人教育をしっかり行うことにより人材確保・離職防止を図る体制・職場の環境改善・介護福祉士資格等の取得支援を実施し定着に結び付けたいと思います。

また、引き続き高等学校訪問、各種団体主催の福祉系求人面談会に参加していきます。実習生の受入れも行っていきたいと思っています。

経 費

(1)今年度も派遣職員に頼らない職場にするため、効果的な有料媒体を使っての職員確保は積極的に行っていきます。

(2)設備関係は予算を見ながら2～3年かけて以下を計画していきます。

唐孔雀園では①外装工事(主:バルコニー部分の防水)、②非常用自家発電(助成金利用)・高圧電気設備、③トイレ排水管更新④デイ屋上防水工事

桜花台園では水道管更新(漏水箇所が特定できず、全面的に改修)

(3)消耗品関係は、施設ごとに違う業者で調達していたものを一本化する等、仕入れ先および商品の見直しコスト削減を図ります。

地域貢献

(1)地域支援プロジェクト

今年度については、(医)南溟会と連携し、青峰・高良内・東国分地区のまちづくり振興会とコミュニケーションをとりながら地域福祉に貢献していきます。

(2)生活困窮者就労訓練事業等への協力

生活困窮者就労訓練事業の受入事業所として事業を継続し、訓練者を直接雇用につける就労支援を実施していきます。

(3)災害時のための支援体制

桜花台園は災害時福祉避難所になっています。地域との連携を図り具体的な体制等整備をしていきます。

各事業の基本方針等について

■唐孔雀園

○基本方針

新型コロナをはじめ感染症予防を徹底すると共にご利用者、ご家族及び職員の体調変化等十分に確認しながら安全なケアを心掛けていきます。

・特養・ショート

唐孔雀園は、利用者様の尊厳をまもり、安心して生活を送って頂く場所です。

私たち施設課職員は、利用者様個々の身体・精神状況に応じた質の高いサービスを提供

し、利用者様が安心して生活できるよう支援を行っていきます。

令和5年度も利用者様が、日々安心して快適な日常生活を送っていただけるように思いやりの心を持ち、笑顔で温かみのある言葉掛けを行いながら、丁寧な介護を心掛け身体面・精神面の援助を行っていきます。

認知症の利用者様については、当園の認知症介護の理念に沿った援助を行うことにより、笑顔で安心して過ごしていただくことで、認知症の進行が緩やかになるように支援します。その為に職員全員が、介護技術や接遇マナーの向上に努め、多職種連携を深めることにより利用者様に対してより良いサービスが提供できるように資質の向上に努めていきます。

・デイサービスセンター

利用者様の、生活の質の向上に努め、住み慣れた地域で自立した在宅生活ができるよう支援すると共に人格を尊重した信頼と安心できる質の高いサービスを提供します。

また、市町村及び地域の各関係機関等と連携し、地域に根差した福祉サービスを提供していきます。また、新型コロナ等、感染症予防を徹底し施設に持ち込まない対策をとっていき利用者の安全に努めていきます。

重点項目

- 1.利用者様の立場でサービスを行い、感謝と笑顔を忘れずに対応します。
- 2.利用者様個々の身体・精神的な状況に応じたサービスの提供に努めます。
- 3.利用者様ご家族等のレスパイトケアに努め、より良いサービスの提供に努めます。
- 4.新規及び既存居宅支援事業所、病院関係へ継続的な情宣活動等で利用者様の増加に努めます。
- 5 職員の資質向上のため、研修等の機会を設け、内部研修を行い、知識と技術の習得に努めます。

■桜花台園

○基本方針

職員全員が介護スキル・接遇マナーの向上に努め、利用者様により良いサービスを提供するとともに、地域密着型の施設としてそのノウハウを地域に還元していきます。同一建物内に在宅部門があるため、引き続き新型コロナをはじめとする感染症予防を徹底し施設に持ち込まない対策をとっていきます。

・特 養

一人ひとりの状態により添ったユニットケアの基本である個別ケアを目指します。また、重度化が進む入居者様への適切なケアを実践し、本人、ご家族様にとって居心地の良い生活が送れるよう努めます。

入居者様、ご家族様が安心して望まれる生活を支えていくため、介護、看護、ケママネ、管理栄養士、医師が連携、情報を共有し統一されたケア、医療を提供できるようにしてい

きます。

・ショート

在宅生活に合わせたケアを目指し、運動器具の充実化を図り、軽度者から重度者の方まで広く「桜花台園なら利用したい」と言われるように個別的関わりを重視し、利用者の趣向や楽しみを見出しメリハリのある生活が送れるように努めます。

在宅生活をご家族、サービス事業所、インフォーマルサービス、担当ケアマネージャー、主治医等と情報共有し、宿泊時に適切な介護が実施できるようにします。

・小規模

利用者様の多様なニーズに応えるため、小規模多機能の特性を生かした通い、宿泊、訪問3つの機能を適切にプランニングしサービス提供できるようにします。

地域行事や地域との交流行事などを通して地域ネットワークを広げ、地域に根差した事業所を目指します。

現在の生活環境をしっかりと把握し利用者様・ご家族の思いを知ることで、住み慣れた地域で生活ができるように努めていきます。

・看護

入所者様、利用者様の重度化に伴い、疾病の管理や医療処置が多く求められている中、些細な変化の早期把握・早期対応により、重症化・重篤化を回避し、その人らしい健康な暮らしが維持できるように支援します。

職員の心身状況を把握し、ストレスへの対応や疾患の早期治療を勧めていきます。

■景福会栄養・地域配食課

○基本方針

食を提供する専門職として、利用者一人ひとりの意向や問題点を細やかに把握し、個々人にあった効率的・効果的な栄養ケアの提供がより一層求められます。同時に唐孔雀園、桜花台園は生活の場でもあり、毎日の食事を楽しんでいただくために、献立作成から喫食までの一連の食事や食事環境(食事の盛付、食器、適温適時、衛生管理)にも、利用者様のニーズが反映できるよう努めていきます。

また、コロナの発生状況をみながら、南溟会と連携を図り、食を通しての地域支援の再開を目指します。